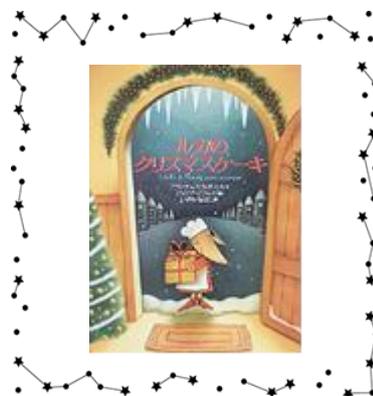


♡ ルカのクリスマスケーキ ♡

Eフ フランチェスカ・ボスカ // 文 ジュリアーノ・フェッリ // 絵
いずみ ちほこ // 訳 いのちのことば社フォレストブックス

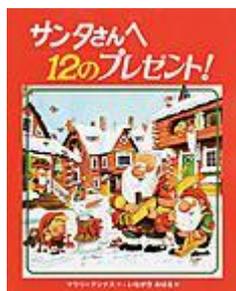
村じゅうのみんなにクリスマスケーキを届けるために、ケーキ屋さんのルカは、お父さんといっしょうけんめいにケーキを作りました。そして出来上がったケーキを、夜おそくに配達しました。ところが朝になると、ケーキが消えてなくなってしまったのです。村の人たちはがっかり。ケーキはたしかに全部くばったはずなのに…。消えたケーキはいったいどこへ…？

★ルカの優しさに心温まるストーリーです。 by オレンジ



♡ サンタさんへ12のプレゼント! ♡

Eサン マウリ=クナス // 作 いながき みはる // 訳 偕成社



クリスマス。子どもたちはこの日を楽しみにしています。なぜって、この日はサンタさんからプレゼントが貰えますからね。

この本は小人のぼうやビッシェが、クリスマスまでの12日間、毎日サンタさんにプレゼントを贈るお話しです。どんな贈り物をするのでしょうか。サンタさんは喜ぶでしょうか。相手のことを思いながら、悩んだ末の意外な贈り物におどろきます！さあ、今年のクリスマスは、ビッシェの贈り物を手本に、家族やお友達とプレゼント交換をするのも楽しいかも。では、Merry Christmas！

by BUN

♀ ライオンと一角獣とわたし クリスマスの物語 ♀

Eツ ジャネット・ウィンターソン // 文 モニカ・シュマルツ // ドイツ
語訳 リスベート・ツヴェルガー // 絵 池田香代子 // 訳 BL出版

むかしむかし、ノアの箱舟で生き残った動物たちに、今度は大切な役割を果たすための面接が課せられました。最終面接まで残ったのが、ライオンと一角獣と私です。面接官の天使が、一体どんな使命を下すのかもわからないまま、結局私が最終面接を突破しました。百獣の王ライオンより、見目麗しい一角獣より、平凡で目立たない私が、です。しかし天使の慧眼に狂いはありませんでした。私から皆さんに、あの素敵な夜の体験をプレゼントします。 by コマサンタ



♡ サッド・スノウマン クリスマスとぼくとゆきだるま ♡

Eサ ささきあつし // 著 新風舎



雪がふるクリスマス・イブのよる。ノック！ノック！ノック！だれかがぼくの家にやってきたー。サンタクロース？いやいや、そいつはおおきなおなかのゆきだるま。ニヤニヤわらいながら、おもちゃやおかしをたくさんもって立っていた。やったー、ぼくはプレゼントが大好きさ！ゆきだるまのおなかからもプレゼントがぞくぞく！楽しくってしょうがない！でも、おなかにすきまができると、あいつはぼくをつめると言いだして…。ぼくはにげきれなかった。そして、とうとうあいつのおなかの中へ…。ちょっとこわ〜いクリスマス・ストーリーです。 by リリー